

おやこ料理教室

親子で共に学び絆を深めた料理教室

夏休み期間恒例の「おやこ料理教室」が、8月2日に金田保健センターで開かれました。参加者24人は、町の調理師・管理栄養士と食進会の指導で「ハンバーグ」「わかめのかきたまスープ」「とろっとバナナ」の3品を調理。完成後は、家族と一緒に作った料理を堪能しながら、親子の絆と食への関心を深めていました。



↑お母さんにハンバーグの作り方を教えてもらい一生懸命にこねる子どもたち。

↓上野焼協同組合の8窯元が参加した子どもたちに作陶の指導から焼成まで協力。



上野焼子ども作陶教室

様々な思いと個性で表現した作陶体験

福智町子育て連子ども会育成連絡協議会主催の「上野焼子ども作陶教室」が7月6日に金田分館で行われました。毎年行われている人気のイベントに、町内学校の子どもたち98人が参加。約1時間の作陶体験で、個性豊かなアイデアが盛り込まれた作品を作り上げた参加者は、創意工夫して作り上げる楽しさと喜びを体感しました。

↓1日に40キロを歩いていた兵士が当時、着ていた服や三八式歩兵銃(約4kg)などを実際に装着する生徒。



伊方小「平和学習会」
戦争を学び考える平和学習

伊方小で8月6日に6年生43人を対象に今回で19回目となる「平和学習会」が行われました。講師の兵士・庶民の戦争資料館の武富慈海館長が戦時中の資料を見せながら戦争の恐ろしさや父・登巳男さんが9年間戦争に出征していた歴史を講演。武富さんは「一人ひとりが戦争の恐ろしさや凄惨さを知り、これからの平和を築いてください」と強く訴えかけました。

福智町・中城村交流事業「少年の翼」

異文化と平和の尊さ学んだ沖縄3日間

福智町の兄弟都市である沖縄県・中城村との相互交流事業「少年の翼」の訪問事業が、7月25日から3日間行われました。福智町から参加した児童13人は、世界遺産・中城城跡見学や中城村の児童宅への民泊を通して異文化を体験。沖縄戦跡を巡り、戦争の悲惨さや平和の尊さ・大切さを学習していました。



↑今回交流した村の児童は、来年1月30日から3日間町を訪れ絆を深める予定。

↓当日参加した高校生3人にとっては、少し先の自分の姿を想像する機会に。



木造住宅再生プロジェクト「STAY NOVA」

人が集う場にする九産大生の最終提案

「Yorie's gallery Gallie+」(金田)の住宅再生プロジェクト「STAY NOVA」の最終提案会が7月25日に行われました。九州産業大学住居・インテリア学科の3年生5人による提案後、参加者の意見を踏まえ赤木春香さんの案を採用することが決定。赤木さんは「努力して制作した提案が評価され嬉しい」と笑顔をのぞかせました。

「和の会」が町に寄付

交流がつないだ福智町への10万円寄付

田川文化連盟に所属する日本舞踊「和の会」が、会員から募った10万円を7月31日に福智町へ寄付しました。今回の寄付は、町内施設への慰問活動などで町と縁があったことから実現。寄付に訪れた泉春華さんと泉華賀さんは「町の活性化に生かしてほしい」と想いを添えながら、黒土町長に寄付金を手渡していました。



↑黒土孝司町長を訪問し、寄付金を届けた泉春華さん㊦と泉華賀さん㊦。

↓みんなで協力しながらローボートを操船し、水上散歩を楽しんだ子どもたち。



B & Gカヌー教室

水面に輝く笑顔が映ったカヌー教室

町内の小中学生を対象とした「B & Gカヌー教室」が、7月31日に古谷池(神崎)で開かれました。参加者21人は約3時間、カヌーやローボートの運転を体験。慣れないオールでの操船に四苦八苦していた子どもたちでしたが、最後は全員で池一面を周遊し、豊かな自然を体感して夏ならではの素敵な思い出を作りました。